



ロータリーは機会の扉を開く
RI会長 ホルガー・クナーク

Weekly Report

クラブ会長テーマ えがおでロータリー

第2469回例会報告

日 時：令和3年4月21日（水）

会 場：例会場

司 会：SAA

開会点鐘

斉 唱：なし

会長報告

●社会福祉協議会の新理事推薦依頼があり、前回の例会でご報告したとおり関重寿会員にお願いし、お引き受けいただきました。小川会員ご苦勞様でした。

●新旧理事・委員長の引継ぎ会は、新型コロナウイルス感染予防のために場所を設けて開催いたしません。昨年と同様に各自で連絡を取り合って引継ぎをしてください。

幹事報告

●21-22年度 地区研修協議会

日時 4月22日（木）9時30分～16時30分

場所 ハイアットリージェンシー東京

出席 本間会長

WEB出席 次年度幹事・理事・委員長の6名の方

●次回の例会は5月12日のクラブフォーラムです。

委員長報告

●北島清高広報 IT 委員長 マイロータリー登録のお願い 地区全体では64%当クラブは37%くらいです。まだの方は登録をしてRIの情報をみてください。登録の方法がわからない方にはお手伝いします。

ニコニコBOX

遠藤常臣親睦活動委員

●山崎会長 本年度の初めてのライブでの小松会員の

卓話楽しみにしています。

●遠藤久幹事 久しぶりの卓話です。小松会員さんよろしくお願ひいたします。少しずつ通常の例会にもどって行ければと願っております。

●小川会員・杉田会員・本間会員・木島会員・岡田会員 待ちに待った小松会員の卓話、楽しみにしておりました。じっくりと拝聴させていただきます。

●村上会員 久しぶりの例会出席です。本日の小松会員の卓話を楽しみにしています。

●小澤谷守会員 小松正典会員の卓話ご苦勞様です。楽しみに拝聴させていただきます。ガンバッテ下さい！

●遠藤常臣会員 例会場での久々の卓話、小松さん楽しみにしています。

●寺澤会員 小松会員の卓話、楽しみに拝聴させていただきます。クラシックカーも今後EVに変わるのでしょうか？

●喜連紘子会員 本日は小松さんの生の卓話を伺えるとのことで、楽しみにしています。頑張ってください。

●遠藤直孝会員 小松会員の車のお話、とても楽しみです。よろしくお願ひします。

●北島正典会員 本日の卓話、小松正典会員「クラシックカーについて」非常に楽しみにしております。1年ぶり以上の会場での会員卓話になります。動画より生の卓話期待しています。

●秋山会員 妻への誕生日プレゼントありがとうございました。

●北島清高会員 小松会員、卓話御苦勞様です。すごく楽しみにしております!!



RI 第2750地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会長：山崎義晴 幹事：遠藤 久

例会日：毎週水曜日

例会場：東京都国立市谷保5209 谷保天満宮社務所2階

事務所：東京都国立市谷保5234-1 電話042-575-04770 FAX042-572-8666

E-mail：kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB http://kunitachi-rc.com/

会報委員：本多鋼治・木島常明・岡本正伸・井田 満

- 三田会員 小松会員の卓話、楽しみです。
 - 本多会員 小松さんの卓話楽しみにしております。
- *ニコニコ BOX 合計 50,000 円 累計 797,000 円

卓話

クラシックカーについて

小松正典会員



■講師紹介 北島正典プログラム委員長
入会3年目の小松会員に卓話をお願いしました。小松さんの事はよくご存じだと思いますので、早速卓話をお願いいたします。

■なぜ国立の谷保天満宮で旧車クラシックカーイベント? 国立市では、毎年12月初めに谷保天満宮旧車祭というイベントが行われています。なぜ谷保天満宮で?→そのルーツを探ってみました

■今から114年前 1907年(明治40年)年『自動車の宮様』と称された有栖川威仁親王殿下が東京自動車製作所にわが国初のガソリン自動車を作らせました。正式名称は「国産吉田式自動車」でしたが、ガタクリ、ガタクリ走る様から「タークリー号」とも呼ばれていた。

■タークリー号のオーナー 当時購入できたのは財界名士ばかり

第一号車: 有栖川宮家 →皇族

第二号車: 井上馨 →元内務、外務大臣

第三号車: 中上川次郎吉 →三井財閥

第四号車: 大日本ビール(現サッポロビール)

第五号車: 森村市左衛門 →森村財閥

第六号車: 日比谷平左衛門 →紡績実業家

第七号車: 難波 一

第八号車: 栗生武右衛門(くりゅうぶえもん)→京浜電気鉄道社長

第九号車: 有馬頼萬(ありまよりつむ)→華族(伯爵)

第十号車: 福沢諭吉 →著述家、教育者

■谷保天満宮と自動車遠征隊

『自動車の宮様』と言われた有栖川威仁親王殿下の企画から実現された我が国初の「遠乗会」(ドライブツアー)の目的地は、谷保(やほ)天満宮に決まりました。天満宮梅林での食事会では、わが国初の自動車倶楽部(オートモビル・クラブ・ジャパン)が設立され「自動車の将来について」熱く語り合われたそうです。宮様御一行は拝殿に昇殿参拝の後、帰途に就かれ、故障や事故もなく無事に東京に戻られました。このことから谷保天満宮が交通安全発祥の地とされています。

しかし、有栖川威仁親王殿下がこの5年後(大正2年)に亡くなられたため、自動車倶楽部や遠乗会の話は表に出ず、しばらく谷保天満宮との関係性など詳細も分からなくなっていたそうです。それを国立の高校の先生が古い新聞記事(明治41年8月2日の東京朝日新聞)にその時の様子が詳しく記されているのを発見し、梅林にあ

出席報告

三田出席奨励副委員長

4月21日 在籍45名中 出席30名

閉会点鐘

山崎会長

った石碑から遠乗会の事実が判明。その後、地元の有志が自動車倶楽部の名称、意思を受け継ぎ、2008年から自動車愛好家クラブとして正式に活動を始め、今の様なイベント規模になったとの話でした。

■皇族 大日本帝国海軍大将 有栖川宮威仁親王(ありすがわのみや たけひとしんのう) 明治天皇の信任が非常に篤く、大正天皇の教育係をしていたばかりか明治天皇との養子縁組により皇位継承権第2位となっていた方

■甲州街道の府中付近 当時は長時間連続運転ができないので定期的に止まって点検しながら走っていた様です。珍しい自動車を見に、多くの人々が集まっています。



■谷保天満宮の梅林で行われた昼食会の様子 右端が有栖川宮威仁親王殿下



■谷保天満宮梅林には現在も「有栖川宮威仁親王殿下台臨記念」の石碑があります 石碑に刻まれた明治41年8月1日に、宮様ご先導による「遠乗会」と称されたわが国初のドライブツアーが谷保天満宮を目的地として開催されたことを物語っています。

■2018年8月1日 宮様の遠乗会から110年を記念し、旧車祭を企画しているクラブ主催で約10台のクラブ員のクラシックカー、関係者計70名ほどが谷保天満宮の神殿前に集まり、記念セレモニーが行われ、その後梅林で当時の様に昼食会も行われたそうです。

